

# 京都市地域・多文化交流 ネットワークサロン通信

発行日 2023年12月1日 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 第44号

## 「東九条芸術祭が開催されました」

11月13日から30日まで、東九条芸術祭が初めて開催されました。

2016年から2019年まで、毎年11月末に開催されてきた「東九条音楽祭」が、この3年間コロナ禍の影響で開催できませんでした。コロナが5類になった今年、再開の要望があり検討を始めた頃、今年10月1日京都市立芸術大学（京芸）が崇仁地域に移転してきました。音楽祭では、いつも音楽学部の学生たちに出演してもらっていたので、京芸が近くにきた機会に、今回は美術学部にも協力してもらい、美術展とコンサートの同時開催という芸術祭へと発展しました。



サクソフォンカルテット（京都市立芸術大学）

11月13日から30日、コミュニティカフェほっこりと京都市地域・多文化交流ネットワークセンターで開かれた展覧会では、若々しい感性の現代絵画を中心に作品が展示され、身近に美術作品を感じることができました。23日に故郷の家・京都の「雲史ホール」で行われたコンサートでは、京芸のフルート科の学生たちのアンサンブルを皮切りに、宮下バレエのピアニスト宮下和夫さんの自作演奏や、原野尚起さん（ピアノ）と古川葵さん（ヴァイオリン）によるデュオ演奏が行われ、25日にネットワークセンターで行われたコンサートでは、おなじみのDuo chouchous（デュオ シュシュ）や



フルートアンサンブル（京都市立芸術大学）

加藤奏さんのクラシックギター演奏と、最後に京芸サクソフォン科の学生によるカルテット演奏で締めくくられました。芸術祭が来年再来年と回を重ねて行われることを願っています。

東九条芸術祭 実行委員長 朴 実

写真：東九条芸術祭実行委員会提供

## ネットワークサロンからの報告

### 第31回東九条マダン

11月3日（金）、元・山王小学校で開催されました。今年から飲食の出店も再開し、会場は多くの来場者でにぎわいました。コロナ前の東九条マダン、完全復活！

9月から毎週、ネットワークセンターや、カトリック希望の家こども園の隣の公園で、朝鮮半島伝統打楽器の練習を重ねてきた子どもたちが、衣装を身につけて楽器隊の輪に入り、大人と一緒に開会の演奏を響かせてくれました。

凌風小中学校の吹奏楽部や、京都国際学園、京都朝鮮初級学校、サムルのたまごなど、東九条春まつりでもおなじみのみなさんに加え、10月1日に崇仁地域に移転した京都市立芸術大学から、モバイルガムランチームが出演されました。インドネシアの民族音楽ガムランを、移動しながら演奏するというユニークなものでしたが、会場が癒しの響きに包まれました。

マダン劇は、コリアンの高齢女性の人生とプロレスを絡ませた、涙あり笑いありの内容



マダン劇「屁のツッパリはマダンですよー  
ひろばと老婆とプロレス物語ー」



モバイルガムランチーム（京都市立芸術大学）

でした。マダンパン（円形の舞台）の周りを多くのお客さんが囲み、大人も子どももマダン劇の世界に引き込まれている様子でした。そして、最後は恒例の和太鼓&サムルノリ（ワダサム）。迫力あるワダサムの演奏で、第31回の東九条マダンも盛大に締めくくられました。

写真：東九条マダン実行委員会提供



## 東九条空の下写真展2023

昨年からはまった「東九条空の下写真展」。今年は11月3日（金）に第31回東九条マダン会場内、18日（土）、19日（日）は、元・山王小学校北側、北河原市営住宅跡地、故郷の家・京都東側高瀬川沿いの3か所のフェンスで展示が行われました。東九条住民や施設、地域に携わる人たちから集められた写真は、懐かしいものから最近のものまで、案内に書かれていた通りその時その時の「まちの生活の息づかい」が感じられる写真でした。そして、見に来られた方々が、実行委員会のスタッフに思い出話をされる場面がたくさん見られました。

今回は、12日（日）に「変化の只中を歩く～（鴨川上ル）」、18日（土）に「～変化とともに歩き続ける人たち（鴨川下ル）」と題して、写真展ツアーが行われ、ネットワークサロンもお手伝いをしました。また、故郷の家・京都の雲史ホールでは、実行委員11名によるトークイベントが行われ、写真展に向けた思いなどが語られました。

今、東九条では、あちらこちらで工事が行われています。「チームラボミュージアム京都（仮称）」の建設工事（2024年完成予定）、東九条の生活の中にある高瀬川と須原通りの整備工事、南岩本公園再整備事業…。大きいワンルームマンションなどの建設も始まっています。大きな企業が入ってくることへの不安、街が綺麗に整えられる過程で伐採された木々への思いなど、変化に対する不安やさみしさもある中で、このような取り組みによって人と人がつながり、思いをことばにできる、とても大切な時間でした。

写真：東九条空の下写真展実行委員会提供



北河原市営住宅跡地の様子



写真展ツアー 故郷の家・京都東側にて

## 登録団体学習会

登録団体のみなさんに呼びかけて、京都ダルクやNAについて学ぶ学習会を行いました。

2015年度にNA響グループと京都ダルクがネットワークサロンの団体登録をして以降、東九条春まつり、高瀬川一斉清掃、東九条ゴミコロリなど、常に京都ダルクのみなさんとともに過ごしてきました。ネットワークサロンのとりくみに参加されている団体のみなさんも、京都ダルクとつながり、交流の輪は広がり続けています。今年の東九条マダンでは、京都ダルクのスタッフ、利用者全員が参加し、ステージの用具担当、自転車置き場担当、ゴミ回収担当、車いす体験担当に分かれ、裏方でまつりを支えていました。

今回の学習会では、京都ダルクってどんなところ？NAってなに？といった、今更、なかなか聞けない基本のことを聞かせていただきました。今回の学習会は、団体同士の「相手のことをもっと知りたい」という思いから開催されたこともあり、スタッフの体験談も聞かせていただき、貴重な機会となりました。ネットワークサロンでは「幅広い多文化共生社会」を目指して交流を続けています。これからも、東九条春まつりや学習会などで、このように交流が深まっていくとうれしいです。

京都ダルクとは…民間の薬物依存症回復支援施設。  
スタッフは薬物依存症からの回復者が大半で当事者が当事者を支援しています。仲間とのつながりだけでなく、社会とつながりながら回復していくために、ボランティア活動を積極的に行っています。



NA（ナルコティクスアノニマス）とは…薬物依存

からの回復を目指す人たちが定期的仲間と行うミーティングです。仲間との分かちあいによって薬物なしの一日一日を送ることを目的としています。全国で自主的に行われており、ネットワークセンターでは2つのグループが毎週ミーティングを行っています。

### 編集・発行 京都市地域・多文化交流ネットワークサロン

□所在地：601-8006 京都市南区東九条東岩本町31

□tel：075-671-0108 □fax：075-691-7471

□開館時間：9時～17時 □E-mail：info@kyotonetworksalon.jp

□webサイト：http://www.kyotonetworksalon.jp

□JR京都駅八条口・JR京阪東福寺・市営地下鉄九条駅より徒歩15分

□京都市バス202・207・208系統 九条河原町より徒歩10分

16・84系統 河原町東寺道より 徒歩1分